

国語国文学会だより



No. 53

2015. 10

日本文学科卒業生の会

国語国文学会 春の総会・研究発表会報告

平成二十七年春の総会・研究発表会を五月二十八日(木)、香雪館二〇二教室にて開催しました。

第一部 総会

(1) 国語国文学会会長挨拶 高野晴代先生

(2) 奨学金授与

上村悦子奨学金

院博士課程前期二年次 望月美紅氏

院博士課程後期三年次 安井絢子氏

茅野蕭々・雅子記念奨学金

院博士課程後期三年次 實槻たまき氏

日本女子大学日本文学科賞(奨励賞)

院博士課程前期二年次 加野友理氏

学部四年次 佐藤彩瑛子氏

日本女子大学日本文学科賞(優秀賞)

学部一年次 高橋和日子氏

佐山記念奨学金

学部四年次 不二崎夢子氏

青木生子賞

白石大学校助教授 裴晋彰氏(新52・院42)

(3) 受賞者挨拶

(4) 平成二十六年活動・決算報告

(5) 自主ゼミ発足(学生の会・卒業生の会)、承認

(6) 平成二十七年活動計画案・予算案・監査選出

第二部 活動報告と研究発表

▼自主ゼミ活動報告

近世自主ゼミ(学生の会) 中村衣里氏

▼研究発表

榎永武彦『草の花』にみる同性愛―ホモソーシャルと異性愛の試み―

平成二十六年日本女子大学日本文学科賞

(学術賞) 受賞

蜂谷百奈氏(新65)

▼留学生紹介及び挨拶

学部一年次 許美玲氏

▼国語国文学会委員長挨拶・役員紹介(学生の会・卒業生の会)

秋季大会・公開講演会のご案内

◇日時 平成二十七年十一月二十八日(土)

午前の部 研究発表

午後の部 講演

◇場所 午前の部 百年館低層棟 百二〇七・二〇八

午後の部 百年館低層棟 百五〇五

◇公開講演

徒然草をどう読むか―「作者問題」と併せて考える

慶應義塾大学文学部准教授 小川剛生氏

堀辰雄の手書き文書

本学文学部准教授 渡部麻実氏

◇懇親会

講演会終了後、ワイミンにて(予定)

会費三千円(学生千五百円)

平成二十六年卒業生の会の活動報告

国語国文学会だより50号発行・発送 5月9日(金)

春季総会・研究発表会の開催 5月22日(木)

臨時常任委員会開催 7月20日(日)

国語国文学会だより51号発行・発送 10月28日(火)

文学散歩実施(森鷗外記念館・東洋文庫) 11月6日(木)

秋季大会・研究発表会・講演会開催 11月29日(土)

予算会議開催 2月26日(木)

平成二十七年卒業生の会の活動案

国語国文学会だより52号発行・発送 5月8日(金)

白主ゼミ新規募集 5月8日(金)

春季総会・研究発表会の開催 5月28日(木)

国語国文学会だより53号発行・発送 10月下旬

文学散歩実施(根津美術館ほか) 11月上旬

秋季大会・研究発表会・講演会開催 11月28日(土)

予算会議開催 2月下旬

平成二十七年常任委員

委員長 一文字昭子(新37)

総務・会計 保志美也子(新12)・井上 光(新14)

総務・名簿管理 藤明理恵(新37)

総務・懇親会 永井幸子(新1)・齊藤雅代(新19)

総務・講師選定 関根 緑(44)・津田英子(新6)

企画 沼田久子(新27)・加藤美之(新33)

編集 木村真佐子(新33)・小林美恵子(新46)

監査 田尾澄子(新36)・鈴木倫世(新54)

(国語国文学会アドバイザー)

日本女子大学国語国文学会・卒業生の会 予算・決算

平成27年●月●日

平成26年度 決算

平成27年度 予算

(単位:円)

(単位:円)

収入の部

項目	
前年度繰越金	288,148
会費(中央研究室より)	330,000
会費(会員より)	214,000
直接納入分	2,000
普通預金利子	155
合計	834,303

収入の部

項目	
前年度繰越金	434,568
H27年度振込金額(中央研究室より)	182,852
H27年度振込金額(会員より)	214,000
計	831,420

支出の部

項目	a. H26年度予算	b. H26年度支出	増減a-b
通信費	300,000	185,960	114,040
文具代	20,000	17,473	2,527
コピー代	20,000	10,597	9,403
会報印刷費	100,000	56,916	43,084
名簿作成費	0	0	0
委員会活動費	87,000	48,116	38,884
(内訳)・委員会費	(15,000)	(8,016)	(6,984)
・交通費	(42,000)	(30,000)	(12,000)
・行事費	(30,000)	(10,100)	(19,900)
ゼミ費	20,000	0	20,000
秋季大会費	100,000	77,129	22,871
慶弔費	30,000	5,000	25,000
パソコン関係諸費	30,000	0	30,000
予備費	79,270	682	78,588
小計	786,270	401,873	384,397
前納分預かり金	240,000	0	240,000
前納分の使用分	▲191,967	0	▲191,967
前年度までの精算金	0	▲2,138	2,138
合計	834,303	402,713	431,590

支出の部

項目	H26年度実績参考	予算
通信費	185,960	200,000
消耗品(文具・封筒等)	17,473	18,000
コピー代	10,597	20,000
会報印刷費	56,916	60,000
委員会費	8,016	2,000
委員活動費	30,000	28,000
交通費	0	0
行事費(文学散歩等)	10,100	20,000
ゼミ費	0	30,000
秋季大会費	77,129	80,000
慶弔費	5,000	0
その他	682	1,000
予備費	840	1,000
小計	402,713	460,000
預かり金(前納分)	0	144,000
合計	402,713	604,000

※消耗品、発送用封筒(1箱1000枚)発注を含む
※委員活動費は、文学散歩資料、その他諸連絡等のための活動費。

会計 斎藤雅代 津田英子
会計監査 齊藤令子 濱田美枝子

研究室だより

○今年度、大谷康晴先生(図書館学)が、国内研修に出られました。

○昨年度後期、サバティカルを取られた清水康行先生(日本語学)が帰任されました。

○他の先生方は昨年度と変わりありません。

○今年度の先生方です。

平舘英子先生(上代文学) 高野晴代先生(中古文学)

石井倫子先生(中世文学) 福田安典先生(近世文学)

山口俊雄先生(近代文学) 渡部麻実先生(近代文学)

清水康行先生(日本語学) 坂本清恵先生(日本語学)

谷中信一先生(中国思想史)

江田すみれ先生(日本語教育学)

田辺和子先生(留学生教育)

○助教の鈴木美穂さんが退職され、鴨川都美さんが着任されました。

○非常勤助手は、上野山礼さんに加え、今年度より曾和由記子さんをお願いしています。

○昨年十二月二十一日(日)

日本女子大学文学部・文学研究科学術交流企画

「樋口一葉『たけくらべ』」生成・認知・流通

目白キャンパス成瀬記念講堂

講演会

「変容する語り―『たけくらべ』の生成過程」

橋本のぞみ氏(日本女子大学他非常勤講師)

「(翻訳)の『たけくらべ』―更新される物語―」

笹尾佳代氏(徳島大学准教授)

「信如像再検討の試み―信如はツンデレか―」

山本欣司氏(武庫川女子大学教授)

新内上演会『たけくらべ』

富士松鶴千代氏(新内千歳派三代目家元)

(協力)NPO法人和文化交流普及協会

司会 渡部麻実氏(日本女子大学准教授)

○三月十四日(土)

日本女子大学文学部・文学研究科学術交流企画

公開講演会

「定家のもたらしたものの―文字と仮名遣い―」

目白キャンパス成瀬記念講堂

講師

「定家仮名遣いの継承」

坂本清恵(日本女子大学教授)

「擬定家本の定家仮名づかい」

遠藤邦基氏(関西大学名誉教授)

「定家様と中世の古筆」

別府節子氏(出光美術館学芸員)

「小堀遠州と定家様の書」

小堀宗実氏(遠州茶道宗家十三世家元)

○五月九日(土)

日本女子大学文学部・文学研究科学術交流企画

「大学図書館のVlog―『自学自励』と学修支援」

(共催) 日本女子大学図書館/日本女子大学文学部・日本女子大学文学研究科

新泉山館国際交流センター大会議室

基調講演

「学術情報基盤と学習支援―大学図書館の新しい機能をもぐって」

竹内比呂也氏(千葉大学副学長、アカデミック・リンク・センター長)

報告・研究・教育のための学術情報利用

「日本文学・日本語研究における資料利用と図書館」

山西(増井)史子氏(中京大学・金城学院大学・愛知大学非常勤講師)

「服飾研究における情報利用行動と図書館」

佐々井啓氏(日本女子大学家政学部被服学科元教授)

○国語科教員の会が、八月六日(木)の午後、国語科教員の卒業生をお招きして開かれ、教員志望の学生もたくさん参加しました。教育活動報告として、日本大学藤沢高等学校教諭井村直子氏が「文学散歩の楽しみ―文芸部の活動いろいろ―」と題して講演され、生徒たちの読書傾向にはかなりの偏りがあり、広く深い読書を促すための方法として、二〇一〇年より井村氏が毎年実施している文学散歩についての具体的な報告をお話しくださいます。教員が、文学関係の場所を生徒とともに歩くことによって、生徒たちが自然に学んでいく様子がわかり、教育における種々の在り方を教えていただきました。さらにご出席の現役の先生方から教育現場の様子を伺うことができ、交流会では、在学生が先輩の先生方に、より具体的なご相談をいたしました。日本文学科では、国語科教員採用情報ネットワークで、教員採用情報や日本文学科の行事などをお知らせしています。教員免許をお持ちでご関心のある方は、国語科教員採用情報ネットワーク nichibuninfo@ic.jwu.ac.jp に登録ください。

○大学院談話会は、十月二十二日(木)(午後二時～三時半)に、百年館低層棟七階七〇一教室で開かれる予定です。今年度は、お茶の水女子大学教授萩原千鶴先生をお招きして、「風土記の時空」と題して講演いただきます。

* * *

○「国文目白」第五四号ができました。ご希望の方は葉書で左記までお申し込みください。

〒一一一八六八一
東京都文京区目白台二一八一―

日本女子大学日本文学科研究室「国文目白」係
代金は、冊子到着後に払い込んでください。

「国文目白」第五四号

(送料別 八〇〇円)

倉田(岩淵) 宏子教授退官記念号

倉田(筆名岩淵) 宏子教授 略歴ならびに著述目録
宮本百合子「築地河岸」「二人いるとき」

既婚女性と反戦—— 岩淵(倉田) 宏子
日尾荊山版「七十六番歌合」をめぐって

石川淳「篠船」論

性への問い——

「赤毛のアン」をめぐる言説配置

一九〇年代フェミニズム批評とバックラッシュ——

衣服・はなみづ・鉄道

佐多稲子「キャラメル工場から」——渡部 麻実

「連歌王五抄」の紹介・翻刻

尾崎翠「途上にて」

「失恋」をめぐる物語——

佐多稲子「夢の彼方」論

国策に絶たれた「夢」のゆくへ—— 小林美恵子

「童心」をめぐる攻防

野溝七生子「肩輪」——

夢野久、音の表現

小林秀雄と初期「藝術新潮」

岡本かの子と「巴里」

憧憬のイメージ——

平林たい子論「荷車」

辛抱する女から復讐する女へ——

鈴木政男「人間製本」

グプタ スウィーティ

「(公)と(私)」の二重構造—— 鴨川 都美

梶井基次郎「ある心の風景」と「冬の日」

社会を見る目と生の希求—— 近藤 のり

家庭への包摂と逸脱——与謝野晶子と三越——

日蝕と月の女 藤木 直実

新聞小説としての「婦系図」—— 鬼頭 七美

「菩提樹の蔭」の成立をめぐって 木内 英実

村上春樹「世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド」

物語構造からみる結末の選択—— 上田早弥子

三浦綾子「水点」「続水点」

ベストセラーの要因—— 渡邊かおり

「落窪物語」論

「書かず」型草子地の視点から—— 大原 智美

「狭衣物語」における女二の宮

沈黙の理由—— 西山 裕里

中世異類女房譚の一形成

「お伽草子」「木幡狐」を中心に—— 荒川 結香

「平家物語評判秘伝抄」

作者周辺について—— 阿部美知代

孫子のかくれんぼ

「孫子」は兵法書ではない—— 石神さゆみ

接続詞教育の見直しの必要性

接続詞の用法と学習者の使用頻度、誤用から—— 呉 謹藝

【書評・紹介】【彙報】

卒業生の会より

◇国語国文学会 文学散歩のお知らせ

日時：十一月十七日(火) 10時

コース：根津美術館

「物語を描く」王朝文学からお伽草子まで

紅ミュージアム

「伊東深水がみた像」美の軌跡描

集合場所：東京メトロ表参道駅

青山通り方面改札集合

費用：国語国文学会会員二二〇〇円、

一般一七〇〇円

昼食代別(リストラツツイオーネ レ・ル

ーチエにて一〇〇〇円)

申込み・連絡先：沼田久子(新27)

電話・FAX 〇三・三三六八・八六〇八

Email: gakkais@fcjwu.ac.jp

申込み締切：十一月六日(金)

【計報】

立川和子氏が去る平成二六年十二月三十日に永眠されました。長年、卒業生の会の常任委員を務められ、平成二十年より平成二五年まで委員長として在任されました。ここに会への多大なご尽力に謝意を表し、故人のご冥福をお祈りいたします。

二〇一五年十月二十日発行

日本女子大学日本文学科国語国文学会卒業生の会

〒一一二八六八一 東京都文京区目白台二八八一

日本女子大学 日本文学科内